

令和7年度医科歯科病診連携発展事業(がん診療)

がん患者医科歯科連携研修会

平素は本会事業に対しまして、格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本会では令和元年度よりがん医科歯科病診連携発展事業として今までの連携体制をさらに充実・強化するために取り組んでおります。

今回、くまもと森都総合病院 腫瘍内科部長 采田 志麻先生と国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔外科部長 中島 健先生を講師にお招きし、がん治療と薬物関連顎骨壊死(MRONJ)をテーマに、医科と歯科からの双方の見解とその対応等についてお話し頂きます。

双方の立場における見解を同時にお聞き頂ける貴重な講演となっております。是非ともご参加の程宜しくお願い致します。

ハイブリッド開催

2026年 3月1日(日)

10:00~13:00

受講無料

場 所 熊本県歯科医師会館

国立病院機構
熊本医療センター
歯科口腔外科部長

中島 健 先生

「がん骨転移の際の骨吸収抑制剤 について歯科医師が行うべき チーム医療」

がん骨転移治療に必須の骨吸収抑制剤は、副作用として顎骨壊死(MRONJ)のリスクを伴います。実は「骨粗鬆症」と「がん骨移」では、MRONJのリスク管理や対応に大きな違いがあります。患者さんのQOLを守るため、発症予防と早期発見を担う歯科医師の使命は極めて重要です。本講演では、がん患者特有の病態を整理し、医科歯科連携の中で歯科医師が果たすべき具体的役割と臨床対応について詳しく解説します。

くまもと森都総合病院
腫瘍内科部長

采田 志麻 先生



「動ける・噛める人生を 全うするための骨転移の究極の チーム医療」

骨転移は多くのがんの患者さんに生じる病態です。病的骨折や神経麻痺などの骨関連事象(SRE)が生じると、痛みで悩まされたり寝たきりになったりと生活の質も低下しますし、がんの治療そのものも終了とせざるを得なくなります。骨転移の病態や医科の治療の考え方についてご紹介するとともに、SREを起こさない様に、またできる限り噛める・食べられる人生を続けていくために、歯科の先生方と一緒に患者さんを守っていくことを考えていきたいと思っております。

お申し込み・お問い合わせ

裏面よりFAX・又はQRコードを読み取り、
令和8年2月24日(月)までにお申し込みください。

問合せ：熊本県歯科医師会 金子
TEL：096-343-8020
Fax：096-343-0623

令和7年がん医科歯科連携事業

がん患者医科歯科連携研修会

申込締切：R8年2月24日（月）

FAX（096-343-0623 県歯 金子行）

又は下記QRコードにてお申込みください。

FAX

希望

受講形態：

☐ 来館

☐ オンライン

所属郡市：

氏名：

メールアドレス：

勤務先：

職種(☒)：☐ 歯科医師 ☐ 医師 ☐ 薬剤師 ☐ 看護師 ☐ 歯科衛生士
☐ 保健師 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 介護支援
専門員 ☐ 栄養士 ☐ 介護福祉士 ☐ 行政 ☐ 事務職
☐ その他()

QRコード

QRコードでのお申し込みはこちらを読み取ってください。

※こちらからのお申し込みは2/24（月）17:00までです。

※オンラインでお申込みの方へ：2/27(金)までにZOOM IDを送付いたします。

